

＜ 認知症サポーター養成講座の開催にあたっての注意点 ＞

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策）

- ・ 当日朝の検温を行い、体調不良の場合は受講を避けること
- ・ 手洗いや消毒、マスクの着用とともに、いわゆる咳エチケットを励行すること
- ・ 開始前、終了後等に会場の消毒を行うこと（特に、ドアノブなどの複数の方が触れると考えられる共有部分）
- ・ 定期的な換気や窓の開放を行うこと（具体的には、30分に1回5分程度行うことが望ましい）
- ・ 講師と受講者との間隔を十分に空けること
- ・ 受講者同士の間隔が2メートル程度（最低1メートル）となるように座席を配置すること
- ・ グループワークを行う際は、①なるべく大きめの机を用意する、②1グループあたりの人数を少人数（3～5名程度）とする、③なるべく対面で向かい合うような座席配置を避ける、④フェイスシールドの利用なども検討すること
- ・ テキスト及び資料の配布は手渡しを避け、すべて封筒などに入れてあらかじめ席に置いておくこと
- ・ 休憩時間の混雑を避けるため、化粧室利用のための中座は休憩時間以外でも差し支えないこと
- ・ 万が一、研修後2週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は、速やかに小樽市へ連絡すること

〔事務局〕

小樽市福祉保険部福祉総合相談室

地域包括ケアグループ 認知症サポーター養成講座担当

0134-32-4111（内線313）